

# 花と緑の銀行だより

232号 2024.8



頭取・グリーンキーパーの皆さんと園児の花植え（写真：魚津支店）

## 目次

- ・花と緑の提言 魚津市の花と緑のまちづくり（魚津支店） ..... 2
- ・活動事例 黒部支店の緑化推進活動について（黒部支店） ..... 3
- ・技術講座 生態系に被害を及ぼすおそれのある宿根草（第2回）（職藝学院 渡邊美保子） ..... 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理～ナンテン～（樹木医 西村正史） ..... 5
- ・銀行事業の紹介 「コンテナガーデンコンテスト」について（緑花推進部） ..... 6
- ・この人あり 花と笑顔であふれる街に（滑川市花と緑の活動推進協議会 会長 千先美鈴） ..... 7
- ・お知らせ 花と緑の大会 など ..... 7



## 魚津市の花と緑のまちづくり

花と緑の銀行 魚津支店長  
魚津市長 村 椿 晃

日頃より花と緑のまちづくりの推進に、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

魚津市は、県東部に位置し、僧ヶ岳や毛勝山などの山裾が近く、街中からも北アルプスの雄大な山並みを間近に見ることができます。また、万葉集にも詠われた清流が流れ込む富山湾には、蜃気楼や埋没林といった極めて貴重な自然があります。さらに、北アルプスの大自然が育んだ清冽で上質な水、豊富な魚種を誇る海の幸、海までの緩やかな傾斜地には田園やブドウ、リンゴ、梨などの特色ある果樹畑が広がります。

このほかユネスコ無形文化遺産に登録された「魚津のタテモン行事」、夏の魚津まつりで市民まち流しが行われる「せり込み蝶六」、松倉城をはじめ多くの特色ある城跡、魚津の米騒動ゆかりの地である旧十二銀行米倉庫（米倉）など、魚津市には魅力的な文化資源も数多く存在します。

魚津市の花「カノコユリ」は、西布施地区で長年栽培されています。お盆のころには、帰省する方や観光客をおもてなしするために魚津駅周辺等にプランターを設置しています。



写真1 魚津市の花「カノコユリ」

本市では、うるおいと緑のあるまちを目指し、親しみの持てる公園の整備や、まちの緑化を推進しており、花と緑の銀行事業では、花苗やチューリップ球根の配付、地方銀行毎に身近な公園や公民館、空き地等の花壇作りを行っています。

頭取・グリーンキーパー（GK）の皆様と保育園児と一緒に公園花壇へ花植えを行う地方銀行もあり、異世代交流が生まれ、子どもたちの植物や自然への



写真2 頭取・GKの皆さんと園児の花植え

愛着が育まれています。また、おもてなしフラワー事業として、あいの風とやま鉄道魚津駅前にプランターを設置しています。季節ごとに様々な種類の花で駅前が彩られており、駅を利用する地域の皆さんはもちろん、県内外から魚津市を訪れる皆さんの心を癒す場所になっています。



写真3 魚津駅前のおもてなしフラワーの取組み

他の地区の頭取・グリーンキーパーの皆様にも、植栽や日頃の水やり等ご尽力いただき、美しい景観づくりの一翼を担っていただいております。

今後とも、豊かな自然を守り未来へつなげていくことができるよう、地域の皆様と一体となって緑化活動を推進して参りたいと思いますので、頭取・グリーンキーパー及び市民の皆様には引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行の益々のご発展と、皆さま方のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

# 黒部支店の緑化推進活動について

花と緑の銀行 黒部支店 事務局長  
黒部市農林整備課 課長 桐 義輝

## 1 黒部支店について

黒部市は、富山県の北東部に位置し、黒部川の源流北アルプスから富山湾にいたる、緑ゆたかな名水の里です。秘境黒部峡谷や美肌の湯宇奈月温泉、「名水百選」黒部川扇状地湧水群など、山・川・海の恵まれた自然環境と観光資源を有しています。市民憲章では「水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります」と定めており、市民一人ひとりが緑あるまちづくりの主演となることを目指しています。

市政の中心となる黒部市庁舎は平成27年に旧三日市小学校跡へ移設しましたが、同敷地内には富山さくらの名所70選の1つである百年桜があります。通常ソメイヨシノの寿命は60年程度ですが、この百年



写真1 黒部市百年桜

桜は樹齢117年と大変長寿で、毎春満開の桜の花を咲かせ市役所を訪れる方や、市外・県外から訪れる人々の目を楽しませて

児童自身がデザインを考案するなど、各学校それぞれの工夫がみられ、昨年度は、当コンクール参加校のうち、若栗小学校の花壇が、全国花のまちづくりコンクールにて文部科学大臣賞を受賞しました。



写真3 学校花壇コンクール 審査会

また、各地区でも特色のある活動を行っており、昨年開湯から100周年をむかえた宇奈月温泉では、「宇奈月温泉開湯100周年 花いっぱい運動」として、宇奈月温泉にお越しになったお客様を花と緑でおもてなしました。温泉街在住の方、企業関係者のほか、地区内の頭取・グリーンキーパーの皆さんにご協力いただき、セレネ美術館前、各宿泊施設前、温泉街の各通りに、100周年にちなんで、100鉢の鉢植えを整備しました。5月に花苗を鉢植えし、温泉街の皆さんにお世話いただきながら、11月までの間、宇奈月温泉街を彩りました。



写真4、5 宇奈月温泉開湯100周年 花いっぱい運動

## 2 支店活動について

当支店の活動といたしまして、緑化推進イベントを春と秋の年2回開催しております。市民の皆様へ苗木の無料配布や花苗のプランターへの植え込み体験、グリーンキーパーによる花や緑に関する相談会などを実施し、イベントを通して家庭からの花と緑のまちづくりを推進しています。



写真2 苗木配布イベント

さらに、幼少年期からの体験を通じて、花や緑を愛し育てる楽しさを知り、親しみや関心を持つことを目的に、市内小中学校を対象とした「学校花壇コンクール」を開催しています。このコンクールでは頭取・グリーンキーパーが学校花壇を現地審査し、「花の生育管理」「設計デザイン」「管理・取り組み状況」の3項目で採点し、花壇の出来映えを競っています。

## 3 結びに

現在、当市では16地方銀行、頭取・グリーンキーパー122名が中心となって市民の皆様とともに、緑化推進活動に取り組んでいます。今後も花と緑の銀行黒部支店では市民の皆様のご協力のもと、より一層花と緑にあふれるうるおいのあるまちづくりを目指してまいります。

結びに公益財団法人花と緑の銀行の益々のご発展と皆様方のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

# 生態系に被害を及ぼすおそれのある宿根草（第2回）

職藝学院

教授 渡邊 美保子

環境省が作成した「我が国の生態系に被害をおよぼすおそれのある外来種リスト」には「その他の総合対策外来種」として、庭園で利用される宿根草もいくつか掲載されています。生態的な特徴をみると、ほとんどがこぼれダネで広がってゆく種類です。種子が風で運ばれて庭園の外で定着して移動してゆきます。特に半自然草地や休耕地、河原などに逃げ出していく宿根草には注意が必要です。

「その他の総合対策外来種」のひとつにバーベナ・ボナリエンスがあります（写真1）。紫色の小花が密集して空中に浮かんでいるように咲きます。草丈が高くなるにもかかわらず、支柱が不要のため、花壇の後列などに配置することができます。宿根草庭園内では、こぼれたタネが他の宿根草の株と株の隙間から発芽して思いもよらない自然風なデザインになります。開花は5月から10月と長期に渡るため、種子を作る期間も長くなります。風で飛んだ種子が河川敷や、道路沿いなどで繁殖して分布拡大するため、このような環境の近くには持ち込まないように環境省は警告しています。最近では、低湿地や林道沿いにも拡大しているようです。



写真1 バーベナ・ボナリエンス。「その他の総合対策外来種」のひとつ。クマツヅラ科。南アメリカ原産。高さは150cm程度。開花期は5月から10月。1930年頃渡来。

リストに掲載されているそのほかの宿根草をみると、ユーパトリウム‘チョコレート’、フランスギク、ヒメヒオウギスイセン、ヒメツルソバ（写真2）など、

庭園に取り入れられているなじみの深い種類が含まれています。観賞用に栽培されていたものが各地で野生化しています。



写真2 ヒメツルソバ。「その他の総合対策外来種」のひとつ。タデ科、ヒマラヤ原産。水平、垂直方向に伸びる。開花期は4月から12月。写真ではコンクリートの隙間に種子が入り込み下垂している。庭園ではグランドカバーとして利用されている。自然の岩場に侵入して雑草化する可能性があるため、このような場所には持ち込まない。明治中期に渡来。

近年、草丈の高い宿根草を草原のように自然風に植栽する、ナチュラルスティックガーデンが流行して、日本の庭園デザインに影響を与えています。様々な宿根草の花の形や色、草姿、開花期間を計算して組み合わせたデザインはとても美しく、季節の移ろいを感じさせてくれます。しかも、花が終わった姿までもデザインの一部分として愛でて、植物本来の姿を最後まで楽しめます。これまでの宿根草花壇では、花が終わると種類ごとに切り戻して整えるお手入れをしますが、このデザイン手法では枯れるまで庭園に据え置かれ、冬に枯れた茎を一斉に株元から切る管理をします。その結果、もし、こぼれダネで繁殖する種類があれば、結実した種子が拡散してしまう可能性が大きくなると考えられます。ナチュラルスティックガーデンの手法で宿根草を植える場合は、海外のデザインをコピーしてしまうのではなく、これらの宿根草が逃げ出さないか注意しながら利用することも、これからのガーデニングには重要な視点となるでしょう。

# 庭木に利用する樹種の特徴と管理

## ～ ナンテン ～

(一社)日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

子供の頃、我家はもちろんのこと大半の家では便所のすぐ近くにナンテンが植えてありました。便所を利用するのは毎日のことですから手洗いの度毎にナンテンを見ていました。そのため、非常に身近な樹木の1つになりました。今回はナンテンを紹介します。

### 1 特徴

ナンテンはメギ科ナンテン属の常緑低木です。寒さにやや弱いという欠点がありますが、樹勢の強い樹木のため、日本各地で庭木として植えられています(写真1)。本州の西部から九州にかけて自生しています。しかし、渡来した栽培種が野生化したとの意見もあります。

ナンテンは5～6月に枝先に伸びた円錐状の花序(花の集り)に、白い小花が多数集まって咲くので目立ちます(写真2)。個々の花は6片で、中心には雌しべが、その周りには6個の黄色の雄しべがあります(写真2の左下)。10～11月になると、球形の赤い実をつけます(写真3の左)。白い実をつけるナンテンもあります(写真3の右)。両者を植えれば、紅白で鑑賞することができます。

日本では漢字の読み「南天」が「難転」に通じるという語呂合わせにより、江戸時代から縁起の良い木とされ、火災除けや魔除けのため玄関先、便所付

近、鬼門の方角に植えられます。全株、とくに実は有毒です。注意してください。生葉は防腐・殺菌作用があるため、赤飯や魚などに添えられることがあります。食べないでください。



写真1 玄関前に植えられているナンテン(2024年7月1日撮影)。

### 2 維持管理

日当たりのよい場所では実のつきが良くなりますので、強い西日が当たる場所をさげ、できるだけ日当たりのよい場所を選んで植えましょう。

実を付けた枝は数年花をつけないので、実がついた枝を3から4月にかけて剪定しましょう。

病害虫は少ない樹木です。しかし、県内では葉の緑に紅色の病斑を生じるナンテン紅斑病が発生したことがあります(同僚の樹木医の鑑定により確認)。このような症状が発生すれば、発生落葉及び冬期の着生病葉を新葉展開直後に除去し焼却するとともに、発病初期である5月の連休明けから6月上旬の頃にトップジンM水和剤あるいはベンレート水和剤の1000～1500倍液を散布してください。



写真2 ナンテンの円錐状の花(全域:2024年6月26日)と拡大した花(左下:2024年6月27日撮影)。



写真3 ナンテンの赤い実(左)と白い実(右)。どちらも2021年12月6日撮影。

# 「コンテナガーデンコンテスト」について

花と緑の銀行 緑花推進部

緑花推進部から「コンテナガーデンコンテスト」についてご紹介します。

このコンテストは、地域緑化の指導者として活動いただいている、頭取・グリーンキーパーのみなさんの日頃の活動成果を発表する機会として、例年、2月の「花とみどり・ふれあいフェア」の開催に合わせて実施しています。

昨年度は、10支店から10作品が出展され、2月9日から18日までの10日間、コンテストを開催した富山市婦中町の「フューチャーシティ ファボーレ」において展示され、多くの県民のみなさんに、頭取・グリーンキーパーの技術や活動を知っていただく機会となりました。また、展示期間中には作品の審査が行われ、優秀作品については、フェア開会式にて表彰が行われました。

このコンテストは以下のとおり今年度も実施することとしています。頭取・グリーンキーパーのみなさんには、是非この機会に、これまで地域花壇等で培ってこられた技術を存分に発揮していただきたいと思っておりますので、奮ってご参加下さい。

## 《令和6年度 コンテナガーデンコンテストの概要》

- ・参加者 花と緑の銀行各支店の地方銀行
- ・出展作品規格 

寸法：横幅、奥行	1.0m以内
高さ	1.5m以内
材料：根付きの植物	
- ・出展申請 令和6年11月中旬～12月下旬（予定）
- ・作品展示 令和7年2月上旬～中旬（予定）
- ・助成 作品制作や運搬等に要する経費に対し助成があります。（上限7万円）
- ・賞品等 豪華副賞や参加賞を用意しています。
- ・留意事項 作品の搬入・搬出、展示期間中の作品管理（花柄摘み等）は出展者が行ってください。
- ・その他 詳細は決まり次第、各支店を通じご案内します。
- ・お問合せ 銀行各支店担当者または本店緑花推進部まで

冬期間は、各地方銀行においての活動も閑散となり、緑花に疎遠となりがちな時期ではありますが、当コンテストに向けた作品の制作を通して、まもなく訪れる春に向けた準備にもなるのではないかと考えています。

花と緑の銀行では、県民が花と緑と交流を深めながら、元気な富山県をつくるため、今後も県民が主役の花と緑の県づくりを支援してまいります。

## 《令和5年度の大賞および優秀賞》

大賞「となみ野に春が来る」



種田花と緑推進協議会（砺波支店）

優秀賞「ともに新しい未来へ」



花と緑の銀行上市支店

## 花と笑顔であふれる街に



滑川市は県の中央部からやや北東寄りに位置し、天気の良い日には能登半島や雄大な立山連峰を望むことができます。

私たち「滑川市花と緑の活動推進協議会」は平成8年に設立され、各会員の皆様の支えを得ながらこれまで四半世紀に亘って活動を続けることができました。

私は平成30年に当会の会長に就任し、現在3期目、7年目となります。

協議会は市内の各地区から選出された9名の頭取と36名のグリーンキーパーで活動しています。春や秋には、滑川インターの入口そばにある花壇や市制60周年を記念して作られた花壇などへの花植えを行っており、滑川市や市の公園を訪れた人たちが、

滑川市花と緑の活動推進協議会

会長 千先美鈴

(滑川支店 浜加積地方銀行 グリーンキーパー)

色とりどりの花を見て楽しんでいただけるよう活動しています。

毎年花が枯れないよう、交代で水やりを行っていますが、近年は猛暑日も多く、皆さん大変な中頑張ってくださいありがとうございます。

滑川で花と言えば、花菖蒲を思い浮かべられる方もおられると思いますが、滑川を訪れた際は、ぜひ市内の花壇もご覧いただければと思います。

今年度は春の花植えが無事終了し、近隣の花の名所での研修視察なども実施したところですが、秋にはまた花の植え替えを行う予定です。

私たちの活動を通して滑川が花と笑顔で咲き誇る、そんな素敵な街になればいいなと思っています。



写真1 滑川市スポーツ・健康の森公園での活動



写真2 色とりどりの花で公園利用者をお出迎え

### お知らせコーナー (8月~12月の主なイベント)

 “富山県花と緑の祭典2024 第52回花と緑の大会”を開催します。

・日時：令和6年10月23日(水) 13:30~16:00

・場所：富山県民会館ホール

・内容

(1) 花と緑の功労者表彰

(2) 富山県花と緑のコンクール入賞者表彰

(3) 花と緑の講演会

演題：「らくして、楽しい！園芸作業のススメ」

講師：園芸家

NHK「趣味の園芸」講師

日本フラワーカレッジ講師 杉井 志織 氏

○同時開催

・花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示 (2階ホール前ロビー)



## 富山県中央植物園

- 夜間開園「夜の熱帯植物探検」 8月23日(金)・24日(土) 18:30~21:00 (入園は20:30まで)
- 夜間開園「オオオニバス鑑賞」 8月25日(日) 18:30~21:00 (入園は20:30まで)
- 特別展 「お茶って何だろう」 9月6日(金)~10月9日(水)
- 第32回 TOYAMA植物フォーラム「お茶 -チャノキの文化と植物学-」  
9月8日(日) 13:30~16:00 管理研修棟2階研修室 参加費無料
- 第36回 ボタニカルアート展 10月11日(金)~10月16日(水)
- 第57回 富山県おもと展 10月18日(金)~10月20日(日)
- 秋季さつき・盆栽展 10月25日(金)~10月27日(日)
- 第7回 サボテン・多肉植物展 11月2日(土)~11月4日(月・振)
- 第18回 秋のラン展 11月22日(金)~11月24日(日)
- ウィンターフェスin植物園 12月6日(金)~12月8日(日)
- 花と緑のコンクール入賞作品展 12月10日(火)~12月25日(水)

(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

## 県民公園 頼成の森

- 木製楽器づくり教室 8月25日(日) 9:30~12:00 定員:20名 参加費:600円
  - どんぐり工作教室 9月29日(日) 9:30~11:30 定員:20名 参加費:600円
  - きのこ狩りと観察会 10月13日(日) 9:30~13:00 定員:50名 参加費:500円 ※軍手必要
  - 頼成の森“感謝の集い” 11月10日(日) 9:30~14:00 定員なし 参加費無料  
・林内散策、オカリナ演奏、抽選会、きのこ汁などを楽しむ
  - リースづくり教室 11月24日(日) 9:30~11:30 定員:20名 参加費:1,000円
  - ミニ門松づくり教室 12月15日(日) 9:30~12:00 定員:20名 参加費:1,000円 ※軍手必要
- (詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ)

令和6年度 ステップアップ研修花壇と研修風景 (7月)



### ◆お知らせ (ステップアップ研修)

研修の様子がインターネットのブログでご覧いただけます。

“普及研修部だより”で検索するか、下記URLを入力、または下記QRコードを読み取ってください。

・普及研修部だより  
<http://fukyukensyu.cocolog-nifty.com/>



### ◆お願い

各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。  
各行事の詳細はその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森  
〒939-1431 砺波市頼成156  
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450  
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 232号

発行日 令和6年(2024年)8月  
再生紙を使用しています。